

河原ビューティモード専門学校 シラバス(授業計画)

開講課程	専門課程	開講学科	本科(昼間部)
開講年度	2023	対象年次	1年次・2年次
授業科目名	ヘアカットVR	科目区分	必修
授業形態	講義・実技	単位・時間数	40時間以上
授業の到達目標及びテーマ	カットの理論を把握したうえで、VRをを駆使して、ワンレンクス、レイヤー・グラデーシヨンの特徴と切り方を理解し、自分でデザインしたカットを理論に沿って、展開し、作品制作する。		
使用教材	テキスト・VR機器・カット道具一式・カットウィッグ〇台 ※他授業との兼ね合いでウィッグ台数を調整する。		
授業計画及び学習の内容	1	カット理論	カット理論のテキストを使用し、ジオメトリックカットを机上で説明、勉強していく。また、シザースの開閉、コームの扱いを実施。VR機器の仕様説明
	2	ワンレンクス	ワンレンクス水平の説明をS1テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	3	ワンレンクス	ワンレンクス前下がりの説明をS2テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	4	ワンレンクス	ワンレンクス前上がりの説明をS3テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	5	ワンレンクス認定試験	ワンレンクス水平をVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどおり数回し、認定試験用の練習をする。
	6	ワンレンクス認定試験	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②切線水平③イングラデーシヨ④既定の長さ、が正確かをみる。
	7	グラデーシヨ	シェーピングによるグラデーシヨの説明をS4テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	8	グラデーシヨ	エレベーションによるグラデーシヨの説明をS5テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	9	グラデーシヨ	ピボッティングによるグラデーシヨの説明をS6テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	10	グラデーシヨ認定練習	エレベーションによるグラデーシヨをVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどおり数回し、認定試験用の練習をする。

授業計画及び 学習の内容	11	グラデーション 認定試験	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②グラデーションの幅③全体の繋がり④既定の長さ、が正確かをみる。
	12	レイヤー	フロントレイヤーの説明をS7テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	13	レイヤー	スクエアレイヤーの説明をS8テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	14	レイヤー	セイムレイヤーの説明をS9テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	15	レイヤー 認定練習	スクエアレイヤーをVR機器を使い復習をする。その後20～30分でのタイムどり数回し、認定試験用の練習をする。
	16	レイヤー 認定試験	数回の練習後、認定試験を20分～30分行う。審査基準として、①左右対称②レイヤーの正確性③全体の繋がり④既定の長さ、が正確かをみる。
	17	刈り上げ	刈り上げの説明をS10テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	18	スタイルカット	ミディアムスタイルの説明をS11テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	19	スタイルカット	ショートスタイルの説明をS12テキストを使用して説明。説明と同時進行でVR機器を使つての学生の理解を促す。説明後にカットの実習をする。わからないところは先生のアドバイスやVRでの復習を促す。
	20	自由制作	今までの授業内容の応用として、学生自身でスタイルを発案し、展開図を描き、スタイルを作成。発表。
成績評価方法			
授業の特徴			
担当教員	資格	実務教員	担当時数

河原ビューティモード専門学校 シラバス(授業計画)

開講課程	専門課程	開講学科	本科(昼間部)
開講年度	2023	対象年次	1年次・2年次
授業科目名	シャンプー VR	科目区分	必修・選択
授業形態	講義・実技	単位・時間数	20時間以上
授業の到達目標 及びテーマ	シャンプーの理論を把握したうえで、VRを駆使してサイドシャンプー・リアシャンプーの特徴と工程を理解し会館とリラクゼーションを与えられるシャンプー技術を習得する。		
使用教材	テキスト・VR機器・シャンプー道具一式		
授業計画及び 学習の内容	1	シャンプー理論	シャンプー理論をテキストを使って説明。サイドシャンプー、リアシャンプーの利点、欠点を教える。その後、お通しの説明、実践をする。
	2	サイドシャンプー手順説明	サイドシャンプーの手順を説明と同時にVR機器を使う。重要ポイントは特に時間をかけて説明。説明後、手順のみをエアーで全員で行う。
	3	サイドシャンプー相モデル	サイドシャンプーの手順をVRにて復習後、相モデルで実践していく。手順を口頭で教えながら行っていく。疑問に思うところは、VR機器により対応。1人終わったら後退して行う。
	4	サイドシャンプー相モデル	相モデルで実践していく。手順を思い起こしながら行っていく。疑問に思うところは、VR機器により対応。1人終わったら後退して行う。
	5	サイドシャンプー相モデル	相モデルで実践していく。手順を覚えた後は気持ちよさや洗い心地等を重視して行う。疑問に思うところは、VR機器により対応。1人終わったら後退して行う。
	6	サイドシャンプー認定	相モデルで実践していく。認定試験前に数回練習時間を設ける。認定試験はチェックリストによって行っていく。
	7	リアシャンプー手順説明	リアシャンプーの手順を説明と同時にVR機器を使う。重要ポイントは特に時間をかけて説明。説明後、手順のみをエアーで全員で行う。
	8	リアシャンプー相モデル	リアシャンプーの手順をVRにて復習後、相モデルで実践していく。手順を口頭で教えながら行っていく。疑問に思うところは、VR機器により対応。1人終わったら後退して行う。
	9	リアシャンプー相モデル	相モデルで実践していく。手順を思い起こしながら行っていく。手順を覚えた後は気持ちよさや洗い心地等を重視して行う。疑問に思うところは、VR機器により対応。1人終わったら後退して行う。
	10	リアシャンプー認定試験	相モデルで実践していく。認定試験前に数回練習時間を設ける。認定試験はチェックリストによって行っていく。
成績評価方法	認定試験内容： 相モデルでのシャンプー認定試験 各20分		
授業の特徴	VR技術を駆使して、学生の、技術者目線での技術習得を目指す。		
担当教員	資格	実務教員	担当時数